

2015年1月16日(金)

協和エクシオ、沖縄県国頭郡の一般廃棄物を処理する ごみ焼却施設の建設に着手

～各家庭から回収されるごみに加え、災害廃棄物の焼却処理にも対応～

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）では、廃棄物処理や水処理、リサイクル施設などの再生可能エネルギー施設の建設および運転・維持管理業務などの環境事業を展開しておりますが、沖縄県国頭郡の国頭村、大宜味村、東村で構成される「国頭地区行政事務組合」（管理者：宮城久和 国頭村長）から昨年受注した、国頭村内に建設予定のごみ焼却施設の設計・建設工事に関し、このたび施設の設計が完了し、建設工事に着手することとなりました。

工事に先立ち、1月15日、同行政事務組合の管理者である宮城久和：国頭村長をはじめ、宮城功光：大宜味村長、伊集盛久：東村長、3村の関係者、来賓、当社代表取締役社長：小園文典をはじめとする工事関係者など約50名が出席し、現地で工事安全祈願祭を執り行いました。

なお、本施設の完成は2016年2月を予定しています。

今回当社が着手する工事は、国頭村、大宜味村、東村の3村の各家庭から回収された可燃ごみおよび粗大ごみ（リサイクルセンターで破碎処理されたもの）に加え、地震などの災害発生時の廃棄物から処理不適物を除いた災害廃棄物を焼却処理するごみ焼却施設を建設するものです。

ごみ焼却施設に関しては、ストーカ式焼却炉を2炉設置し日量12トンの処理に対応するほか、粉じんや騒音、振動、悪臭などの公害防止設備として、集じん装置、消臭剤噴霧装置を設置。加えて、ごみ焼却処理で発生する排水は、場内循環利用により無放流方式を採用しています。

当社では、今回の工事を安全に滞りなく実施するとともに、今後も地球環境保全と循環型社会の形成に貢献する環境システムの提供および運転・維持管理業務を積極的に提案していく方針です。

なお、今回の工事概要は以下の通りです。

工 事 名：国頭地区ごみ焼却施設建設工事
工 事 場 所：沖縄県国頭郡国頭村字宇嘉 1179-416
敷 地 面 積：約7,700 m²
施 設 概 要：・ごみ焼却施設

建物構造：鉄骨造
建築面積：約1,600 m²
延床面積：約2,600 m²
建物高さ：23m
煙突高さ：50m
焼却炉形式：ストーカ式焼却炉
処理能力：12t/8h（6t/8h×2炉）
公害防止設備：（粉じん）集じん装置
（悪臭）消臭剤噴霧装置
（排水）無放流方式（場外に出さない方式）

- ・ 洗車場（建築面積：約90㎡、建物高さ：6m）
- ・ 駐車場（建築面積：約195㎡、建物高さ：4.7m）

処理対象物：可燃ごみ、粗大ごみ、災害廃棄物

工事期間：2014年6月9日から2016年2月29日まで ※設計期間を含む

受注金額：2,365,200,000円（消費税及び地方消費税込）

施工管理：株式会社沖縄チャンドラー

設計・施工：株式会社協和エクシオ



「国頭地区ごみ焼却施設(仮称)」の完成予想図

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-29-20 総務部 CSR・広報室

電話:03-5778-1075(直) FAX:03-5778-1228

担当:高柳 圭伸